

豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）

「小さく持続するむら戦略」

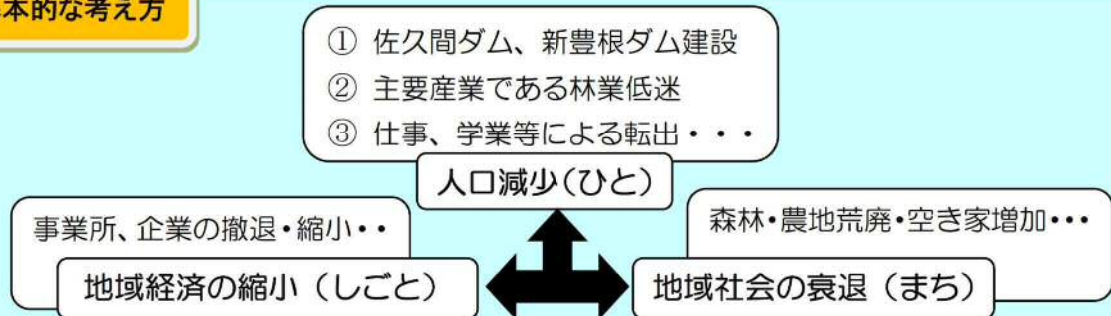
令和2年度～6年度
（2020年度～2024年度）



令和2年3月
（2020年3月）
豊根村

「第2期豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和2年度～6年度）

基本的な考え方



半世紀以上にわたる人口減少問題は、豊根村の存続をかけた重要な課題であり、豊根村の持続的な維持に向けて、地域社会（まち）、人口（ひと）、経済（しごと）の課題に対して一体的に取り組むことが何よりも重要であります。現行の第6次豊根村総合計画（H30～R9年度）と豊根村人口ビジョンにおいて示された長期的な展望の内容を踏まえながら、国・愛知県の総合戦略に基づき「第1期豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27～31年度）」を策定し、様々な取り組みを進めてきましたが、効果検証をふまえ引き続き地方創生を継続するため「第2期豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～6年度）」を策定するものです。

人口ビジョンの展望

豊根村人口ビジョンでは、今後取り組みを実施しない場合、少子高齢化傾向が今後も続き、人口規模が大きく縮小することが見込まれています。

2045年 455人（高齢者比率62%） 2060年 263人（高齢者比率59%）

（国立社会保障人口問題研究所・地域経済分析システム推計）

対策 ①出生率向上対策 ②転出抑制・転入促進対策

人口対策の効果を十分発現させ 2060年の豊根村人口を 900人程度

将来の人口推計



目指すべき将来の方向

村制130年の決意 豊根村を将来にわたって持続させる！
「小さく持続するむら戦略」

- 1 小さいことを活かした長続きする豊根村にする
- 2 自分たちのことは自分たちで決めるむらづくり
- 3 かかわりを広げるむらづくり



【国の目標】 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

基本目標1 地域資源を活かし村民が稼げる村をつくる

しごとづくり

【国の目標】 地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる

基本目標2 地域ぐるみで人を迎え入れる

ひとの流れ

【国の目標】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標3 現役世代しっかり応援

結婚・出産・子育て

【国の目標】 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

基本目標4 みんなが安心して暮らせる村をつくる

まちづくり

★横断的な目標の追加（新たな視点）

① 多様な人材の活躍を推進する

多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に進めるとともに、誰もが居場所と役割をもち活躍できる地域社会を目指す。

② 新しい時代の流れを力にする

将来的に*Society5.0の実現に向けた未来技術の活用を強力に推進するとともに、情報通信技術（ICT）を活用し施策との連携を図り地域課題の解決に取り組みます。また、持続可能な開発目標*SDGsを原動力とした地方創生を推進する。

*Society5.0 狩猟社会(1)、農耕社会(2)、工業社会(3)、情報社会(4)といった人類がこれまで歩んできた社会に次ぐ、デジタル改革やイノベーションを最大限活用して実現する第5の新たな社会。

*SDGs 持続可能な開発目標として2015年の国連サミットで採択された国際目標

具体的な施策

基本目標1 地域資源を活かし村民が稼げる村をつくる

しごとづくり

【施策の概要】

愛知県内有数の観光地である茶臼山高原を、農林水産業や食文化など地域資源を最大限に生かし、観光交流の拡大を創出し仕事づくりにつなげていきます。

【数値目標（5年後）】 **観光交流人口の増加 100万人**

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

（ア）観光の振興 観光振興の強化、農林業等産業間・広域連携等

（KPI）観光交流人口 季節ごとの交流人口の増加 24万人/年
（四半期ごとに6万人ずつ増加）

（イ）農林水産物の活用 特産品の開発、地域資源の活用による雇用の確保等

（KPI）農林水産業従事者 20人/5ケ年

（KPI）木質ペレット生産量 120t/年

（ウ）商工業の振興 地元での消費喚起対策、農産物等の販売による所得向上等

（KPI）村内観光施設における農産物等販売額 10,000千円/年

（エ）起業の促進 産業間の連携強化による新たな産業振興、観光消費の拡大等

（KPI）起業支援数 5件/5ケ年

基本目標2 地域ぐるみで人を迎え入れる

ひとの流れ

【施策の概要】

UI ターン対策を積極的に行うとともに、「関係人口」の創出や拡大に取り組むことで村への人の流れを強化します。

【数値目標（5年後）】 **3家族定住促進 3家族/年（大人2、子供1）**

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

（ア）定住促進対策 定住受入環境整備、空き家の活用、交通網整備等

（KPI）住宅整備 5戸/5ケ年

（KPI）住宅リフォーム支援 20件/5ケ年

（イ）関係人口の拡大 地域や地域の人々と多様に係る関係人口の拡大等

（KPI）交流人口 8,000人/年

（KPI）ふるさと村民登録者 300人/5ケ年

（KPI）ふるさと納税 100人/年

（ウ）人材づくり・女性の活躍支援 外部人材の積極的な受入れ、新しい人材の確保、働く女性の支援や就業機会の環境づくり等

（KPI）地域おこし協力隊の受入数 4人/年

【村の基本目標3】 現役世代しっかり応援

結婚・出産・子育て

【施策の概要】

現役世代が安心して結婚・出産・子育てができるよう切れ目のない支援を行い、安心して暮らせる環境づくりを進めていきます。また、地域を担う子供たちが「豊根が好きだから戻りたい」と思ってもらえるよう、地域全体で子供を育てる体制を築き、Uターンに繋げていくような教育環境づくりを進めていきます。

【数値目標(5年後)】 **小中学生の児童生徒確保 60人**

【具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)】

(ア) 子育て世代への支援 子育て・母子福祉・保健事業の充実、切れ目のない支援

(KPI) 子育て支援策数の維持 9施策/年

(イ) 医療・福祉・健康づくり 医療体制の充実、健康づくりの推進等

(KPI) 地域サロンの参加者数 1,000人/年

(KPI) とよね健康マイレージ参加者数 300人/年

(ウ) 学校教育の充実 特色ある教育、保・小・中学校連携、高校への通学確保等

(KPI) 特色ある教育事業数の維持 5事業/5ケ年

(エ) 生涯学習の充実 生涯現役で学ぶことができる体制づくり、いきがい対策等

(KPI) 生涯学習活動の参加者数 380人/年

(KPI) コミュニティースクール参加者数 850人/年

【村の基本目標4】 みんなが安心して暮らせる村をつくる

まちづくり

【施策の概要】

民間サービスの少ない地域であるため、住宅・医療・教育・公共交通・情報通信など生活に必要な基盤を関係機関と連携して維持管理を行っていきます。効率的な運営や周辺地域との連携や機能分担を図りながら、将来にわたり持続可能な村づくりを進めていきます。

【数値目標(5年後)】 **行政区の維持 5地区**

【具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)】

(ア) 生活基盤の整備 道路・水道等生活基盤整備ほか

(KPI) おつかいポンプ便の利用回数 150回/年

(KPI) 村営バスの路線維持 5路線/年

(イ) 広域ネットワーク体制づくり 周辺自治体・大学・企業などとの連携強化や拡大等

(KPI) 広域連携協定の締結 5協定/5ケ年

(ウ) 環境に貢献する地域づくり 地域環境の保全、景観整備、不法投棄対策など

(KPI) 景観向上整備箇所数 15か所/5ケ年

(エ) 村民と行政の協働 村民と行政の「協働」、住民主体の地域づくり等

(KPI) 持続可能な行政区の手引き策定事業 1事業/5ケ年

(オ) 防災・防犯対策 防災・減災対策の強化、防犯・交通安全啓発等

(KPI) 防災資機材の整備数 10ヶ所/5ケ年

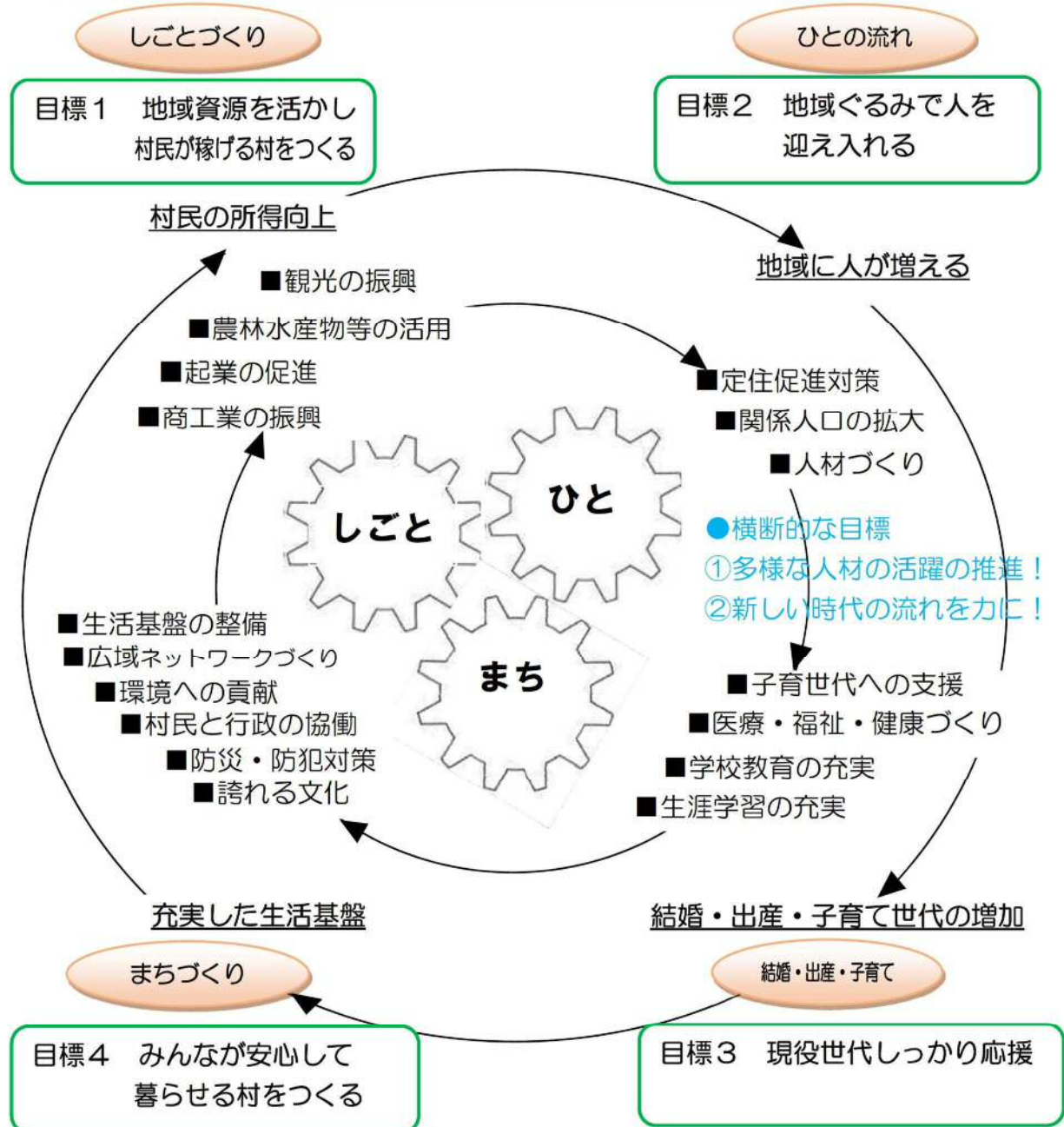
(KPI) 消防団員数の維持 50人/年

(カ) 誇れる文化づくり 伝統芸能の継承等

(KPI) 伝統芸能の維持 4地区/年

豊根村における「まち」「ひと」「しごと」の好循環 概念図

基本目標の実現に向けては、各種政策が連動して効果を発揮するよう政策をパッケージとして設定し、重点的に取り組みを実施していく。なお、政策パッケージの実施にあたっては、住民・企業・団体など産学官金労言の関係者連携を促すことで、政策の効果をより一層高める工夫を行う。新しい「ひと」の流れが生じると、その「ひと」が新しい「しごと」を創出し、好循環が生まれる。そして、「しごと」「ひと」の好循環が、安心して暮らす「まち」の基盤を整備させるとともに、「まち」の基盤を充実することで、持続可能な地域となっていく。



総合戦略の推進

- 総合戦略は、豊根村の人口減少に立ち向かうための戦略であり、交流人口の増大などによる雇用、新しい若者の定住、都市との連携を可能にする交通基盤などの確保を中心として構成しており、豊根村の地方創生の核となるものである。そのため、住民間で共通の理解を図りつつ、第6次豊根村総合計画のコンセプトである「豊かに根ざす村」と連動して、住民主体の力を結集して推進していく必要があります。
- 財政力の乏しい豊根村において、総合戦略の実現に向けては、中長期にわたって安定的な財源の確保が重要であります。そのため、財政の健全化図り持続可能な財政運営を進めるとともに、国や県と密接に連携して着実かつ持続可能な体制により総合戦略の実現を図る必要があります。
- 豊根村は、全国に先駆けて人口減少・少子高齢社会を迎えています。人口減少を克服し地方創生を成し遂げていくことは、国のすべき方向を示すモデルになるものと考えています。
- 地域を持続していくためには、何をすべきかをしっかりととらえ、全国一律の施策を行うのではなく、豊根村の課題に応じた取り組みを柔軟かつ大胆に進めていく必要があります。国の地方創生の取り組みを大きなチャンスととらえ、持続可能な地域社会づくりを目指していきます。
- 新しい村づくりの形を創出し、豊根村を子や孫、さらには次の世代へ引き継いでいくことは、今を生きる我々世代の最も重要な責務であり、そのためにも、村の良さを豊かにたたえた活力ある地域づくりに取り組んでいかなければなりません。

推進体制

- 本部長を村長とする「豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」が中心に行い、施策を総合的かつ計画的に推進する。
- 産学官金労言の代表者などで構成する「豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」から意見を聴取するとともに、村議会や関係機関により連携を図っていく。

効果の検証

本総合戦略では5年間の取り組みに対する各政策分野の基本目標に係る数値目標を設定するとともに、それぞれの具体的な施策については重要業績評価指標（KPI）を設定し、検証・改善を図る仕組みとしてPDCAサイクルを運用します。

また、中長期にわたって取り組みを継続する必要があることから、短期・長期の目標設定を行い、常に個々の取り組みの成果を検証しながら、必要に応じて適宜この総合戦略を見直していくものとします。

策定体制

国の長期ビジョン／総合戦略

県の長期ビジョン／総合戦略



豊根村
第6次総合計画
30～39年度



豊根村人口ビジョン
豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略



関連計画
東三河振興ビジョン
県山村振興ビジョン
地域再生計画等

豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略
推進本部

本部長：村長／副本部長：副村長

本部員：教育長・各課長

事務局：地域振興課

諮問・報告



意見・検証

諮問・報告



意見・検証

豊根村議会

豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略
検討委員会

住：村議会議長、区長、女性部長、老人クラブ連
合会長

産：村商工会長、村観光協会事務局長、豊根森林
組合長、大入川漁協組合長、社会福祉協議会
長、愛知東農協理事、丸豊会長

学：愛知大学、名古屋大学

金：豊川信用金庫東栄支店長、豊根郵便局長

言：中日新聞社

官：豊根村地域振興課